

GUITARS AND BASSES



いろいろな改革というのがそうであるように、フェンダーはひとつの根本的な洞察から開始いたしました。私たちがの場合、それは伝統的なコースティックギターの有りたいくらかの弱点を除去し、ソリッドボディのギターを広めていくという認識でした。結局のところ、ボディの機能というものは音響的には体の振動を拡大し、楽器の音をより大きくするということになります。エレクトロニクスがこの仕事をより良くできる事実があります。

向、その上アコースティックボディでは、他のエネルギーを吸収してしまい、高いレスポンスを不可能にしてしまうのです。又、生み出すことのできるトーンの範囲を制限し、その楽器が独自に持っている共鳴(個性)が失われません。だからフェンダーは、世界最初のエレクトリックソリッドボディを創出したのです。そして事実上、現代のギターというものを再び明確にするたくまの技術者、一歩踏みこんでいるのです。

フェンダーのエレクトリックベースの発明は、もっと大きな革命といえます。ベースに、軽便でコンパクトで持ちやすく、あらゆる状態に適したボリュームで演奏できる楽器をあたえたことにより、フェンダーはロックロールのライブパフォーマンスを可能にしたということが言えるでしょう。今日「フェンダー・インストルメント・リサーチ」は、自らがハイエンドとしてやってきた改良と革命的展開を拡張続けています。

